

2010年度

科目名	地域文化論(総合講座)			
担当教員	吉原 忠雄、中村 浩、藤澤 典彦、犬木 努			
配当	教育4		コード	31270
開期	通年	講時	水曜日1限	単位数 4
授業テーマ	(犬木) 考古学で地域色を考える。 (中村) 古代の地域史を考える。 (藤澤) 中世末の日本とヨーロッパ (吉原) 大阪の仏像			
目的と概要	(犬木) 考古資料の分析を通じて、日本列島における「中心」と「周縁」の問題を考える。 (中村) 古代の地域史を考えるために「風土記」を読みながら、地域の歴史、民俗を考える。 (藤澤) ルイス・フロイスの『ヨーロッパ文化と日本文化』岩波文庫をよみながら、日本とヨーロッパの違いとその現代的意味について考える。 (吉原) 大阪は和泉国、河内国と摂津国東部からなり、歴史的文化的に重要な位置を占めてきた。仏像と言えば奈良・京都のイメージだが、大阪にも多くの仏像がある。この授業では、国宝・重要文化財の仏像を中心に大阪の仏像の美・信仰・歴史について考える。			
成績評価法	(犬木) 平常点および試験(ないしレポート)による。 (中村) 平常点(50%)とレポート(50%)による。 (藤澤) 平常点(50%)とレポート(50%)により評価する。 (吉原) 平常点(50%)とレポート(50%)により評価する。			
テキスト	(犬木) 使用しない。講義中に適宜プリントを配布する。 (中村) 授業中に配布する。 (藤澤) ルイス・フロイスの『ヨーロッパ文化と日本文化』岩波文庫(安価な本であるので個人で購入すること。)			
参考書				
履修に当たっての注意・助言	私語など、授業態度の悪い学生は、教室の外に出てもらう場合がある。			
講義計画				
<p>■犬木担当分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 考古学で地域色を考える 3. 縄文時代の地域色 4. 弥生時代の地域色 5. 古墳時代の地域色(1) 6. 古墳時代の地域色(2) 7. 古墳時代の地域色(3) 8. まとめ <p>■中村担当分</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 地域の歴史を知るためには? 10. 資料の種類と内容(古代史の場合) 11. 地域史史料を読む(「風土記」) 12. 地域史史料を読む(「風土記」) 13. 地域史史料を読む(「風土記」) 14. 地域史史料を読む(「風土記」) 15. まとめ <p>■藤澤担当分</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 地域とは何か。 17. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 18. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 19. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 20. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 21. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 22. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 23. 『ヨーロッパ文化と日本文化』を講読・解説 				

■吉原担当分

24. 大阪の地理的環境

25. 飛鳥・奈良時代の仏像—堺市博物館観音菩薩立像・野中寺弥勒菩薩半跏像・葛井寺千手観音坐像など

26. 平安前期の仏像（1）—観心寺如意輪観音坐像・道明寺十一面観音立像・獅子窟寺薬師如来坐像など

27. 平安前期の仏像（2）—孝恩寺弥勒如来坐像・四天王寺阿弥陀三尊像など

28. 平安後期の仏像（1）—久安寺阿弥陀如来坐像・本山寺聖観音立像など

29. 平安後期の仏像（2）—法道寺阿弥陀如来坐像・安穩寺十一面観音立像・今養寺大日如来坐像など

30. 鎌倉時代の仏像—施福寺不動明王薩立像・金剛寺天部立像など